

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシー・レベル） 取組概要

建学の理念



情報化社会の新しい大学と
学問の創造

本プログラムの目的

本プログラムは、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、本学での学びを通じ
知識・技術を深めることで今後の情報化社会で貢献できる人材を育てることを目的とする。
本プログラム対象科目である「情報の世界」は1年次前期の履修科目とした。

ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

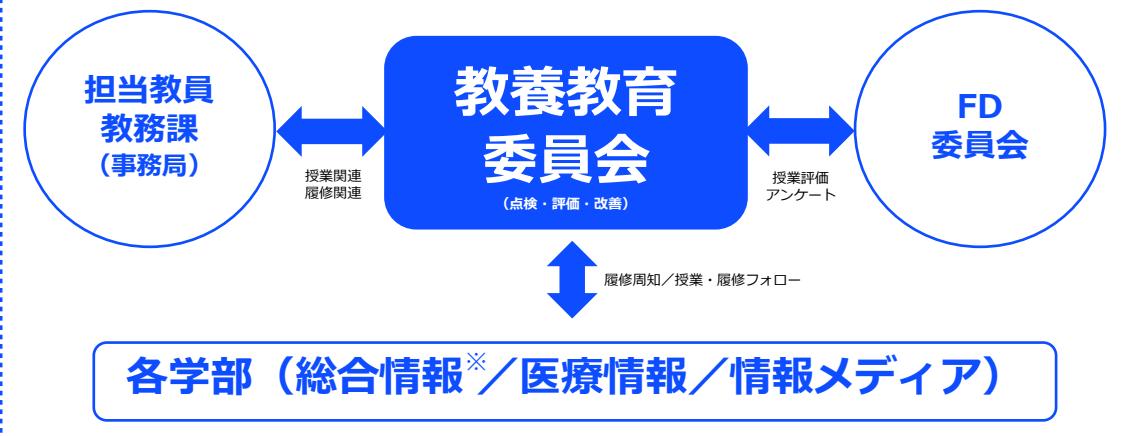
授業概要

デジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事等の場で使いこなすことができる基本的要素を身に付けること、および数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAIの恩恵を享受し、これを説明・活用できることを目指します。
講義においては、知識やスキルを理解するための実習などを用意し、学生が主体的に学べるようにします。

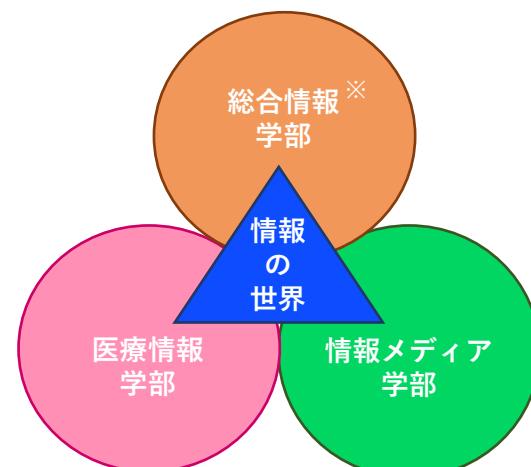
特 色

- ① 本講義ではオムニバス方式を採用しており、5名の教員が
経験に基づき複数業界の事例を具体的に解説します
- ② 画像・音楽・動画などの社会データ・MRIやCTなどの
医療画像データ・音声やウェアラブルセンサーなどの
パーソナルデータ等、多くの実データに触れることができる

体制・計画・点検・評価



全学科での取組み



授業風景

